

試験日 : 2025年2月24日
入試種別 : 大学院(博士後期課程)入学試験問題
学部・研究科 : 心理学研究科
科目名 : 外国語 英語

解答又は解答例

I

- 問1 情報のなかから重要なものだけに注目し、生存のために全力を尽くすことや、創造、探索、革新などをもたらすエネルギーとなる。
- 問2 何の感情もなく淡々と分析すること。
- 問3 AIを使うことで人ができないような分析をすることができるが、人を人たらしめる感情知能をAIで置き換えることはできない
- 問4 感情が入ることで合理的な判断ができないことを恥じること

II

インターネットは多くの人とつながれる良い面もあるが、2020年の調査によると10代の子供の約半数がネット上でのいじめにあたり不快な思いをしている。SNSは他者と自分を比較してしまう場になり、ある研究では13歳から17歳の子供の約半数が自分の体形のこと落ち込む経験があるとしている。他の大規模な研究では、SNSの使用がうつ病、不安、自尊心の低さ、体型イメージの低さに関係していることが分かった。SNSは単に時間つぶしとして用いるのではなく、目的をもって使うべきである。

III

<採点のポイント>

文章がどの程度読みやすく、的確に情報を伝えているか評価する。具体的には、各文における語彙や文法の正確性、また文のつながり方などから文章全体の構成を評価し、読みやすさを評価する。加えて、内容が抽象的、一般的な情報に終わらず、具体的な情報を盛り込むなどして個人の考えがどの程度表されているかといった情報量の面も評価する。